

第2回 平成6年度 受賞者

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

清和文楽人形芝居保存会（熊本県清和村）

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

四国こんぴら歌舞伎大芝居推進協議会（香川県琴平町）

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

安井 武次（石川県七尾市）

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

南部盛岡チャグチャグ馬コ保存会（岩手県盛岡市）

受賞者 プロフィール

地域伝統芸能大賞 保存継承賞（第1類）：地域伝統芸能の実演に係わる団体又は個人

清和文楽人形芝居保存会（熊本県清和村）



大賞時代に衰退した人形浄瑠璃芝居を昭和二年に再興し今日まで伝承した。「文楽の里」に清和文楽館が開館してからは、年間 179 回の公演を行い地域の観光と特産物販売で商工業の振興に大きく貢献している。

地域伝統芸能大賞 活用賞（第2類）：地域伝統芸能を活用した行事の実施主体

四国こんぴら歌舞伎大芝居推進協議会（香川県琴平町）



日本最古の芝居小屋「金丸座」を活用し、昔ながらの演出で歌舞伎公演を行い、多くの観客を集め、全国各地の古い芝居小屋を利用した「町おこし、村おこし」の模範となっている。

地域伝統芸能大賞 支援賞（第3類）：衣装、用具等の製作、人材等の確保に係わる団体又は個人

安井 武次（石川県七尾市）



能登最大の春祭である青柏祭の曳山に飾る歌舞伎人形作りに携わり 20 数年の貢献を重ね、祭りに欠かせない存在である。

地域伝統芸能大賞 地域振興賞（第4類）：その他特に顕著な貢献のあったもの

南部盛岡チャグチャグ馬コ保存会（岩手県盛岡市）



みちのくの初夏の風物詩とよばれる「チャグチャグ馬コ」には毎年 50 万人前後の観光客が訪れ、観光及び地域商工業の振興に大きく貢献している。その 100 頭にも上る装束馬の世話や催しの実施に果たす同保存会の役割は多大である。